

令和6年度まちづくり座談会会議録（横山本郷）

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 令和6年6月20日（木）午後7時00分～午後9時10分 |
| 開催場所 | 横山総合センター |
| 出席者 | 町長 庄司 中 副町長 高橋 裕 建設課長 大沼進悟 まちづくり推進課政策推進主幹 海藤敏之 保健福祉課長 青藤佳幸 産業振興課長 八鍬 誠 総務課総務主幹 小玉大輔 |
| 出席者 | 18名 |

議事概要

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 開会 | 小玉主幹の進行で開会する。（午後7時00分） |
| 2. 副町長自己紹介 | 高橋副町長が挨拶を行う。 |
| 3. 町長説明 | 庄司町長が説明を行う。 |
| 4. 小玉総務主幹が支援事業パンフレットについて説明を行う。 | |
| 5. 懇談 | |
| 参加者 | <p>まちづくり座談会の資料の6ページの最上川緊急治水対策プロジェクトという課題についてです。今回の堤防あるいは大橋の掛け替え等については大事な工事だと思います。手を打たないと大変なことになるであろう内水処理のことです。これまでも話が出ておりますけれども、横山第4樋管との関わり、あるいは金川との関係です。</p> <p>金川は、今後の工事ではどのようなか、早急に手を打ってほしいというふうな考えであります。橋と堤防 だけではどうしようもないと感じております。今までは降水量が少なかったもので、幸いしてそんなに被害が大きくなかったと思っております。雨量が多ければ 今までのようなことにはならない。必ず大きい水害になると感じておりますので、是非とも内水処理のことを考えていただきたいということでもあります。さらには 大橋の架け替えに伴って、今までなかった歩道の取り付けのことです。私が考えるには 大石田町の最上川にかかっている橋、白鷺橋あるいは大浦橋、川前の亀井田橋、黒滝橋、虹の大橋、すべて一段高い歩道であります。雪国なので雪対策だから、歩道を一段高く作っているのではないのでしょうか。雪対策は私から言えばまだまだ良い方法があると思います。大橋の歩道を歩く大半が横山の人です。歩道が一段高い安心して歩ける歩道にさせていただきたいという要望であります。</p> |
| 大沼建設課長 | <p>貴重なご意見ありがとうございます。緊急治水対策プロジェクトの堤防の引き堤、それから、大橋の架け替えについて、内水処理の方もしっかりとしてほしいというご意見でした。当然のことながら、内水処理が大変重要なことは町の方でも国の方でも認識しております。現在も10年に一度、100年に一度、それから1000年に一度というような大雨も想定して、シミュレーションをさせていただいているようです。まもなく、皆さまに公表できるかと思いますが、そういった際でも少</p> |

| | |
|---------------|--|
| | <p>なくとも令和2年度のような被害は起きないというようなことで計算して金川の取り回しであったり、それから 第4樋管の方の水量なども計算しておりますので、もう少しお時間をいただければ、国の方から公表できればと思いますので、そちらをまずは ご覧いただいて、少しでも安心していただけるような内容になるかと思っておりますので、少しお待ちいただきたいと思っております。それから、歩道の取り付けについては、この話が出た当時からご要望いただいております、我々も何とか実現できないかということで、検討を重ね、それから要望の方も重ねてまいりました。現段階では車道と同じような高さでの歩道スペースの確保ということになっておりますが、現在、歩道整備をする場合は車道と同じ高さになるのが一般的な整備方針でありまして、今後整備を進めていきます。大石田畑線も車道と同じ高さの歩道を整備するというような計画でございます。そういったことも含めて、要望として、これからは国の方と調整を進めていきますが、現段階では そういった計画でありますので、ご理解をお願いしたいと思います。</p> |
| <p>参加者</p> | <p>お話はわかるんですけども、大橋の歩道の件では、今までと全く考えが違うということですか。これまで大橋も一段高い歩道であると、人が少しでも安心なように作っているはずですね。でも、それが 単なる平らで線一本で歩道と車道の区別っていうことは、私は納得いかないと思っています。計画そのものを最初からそれでやるということだから、取り付けできないということですか。最初から一段高くして作るという考えであれば、そのような方向になると思う。歩く人は横山の人です。我々です。現在歩いてみても安心感がちょっと足りない。昭和4年に作った橋ですからしょうがないが、そこを何とか変えて作ってほしい。</p> |
| <p>大沼建設課長</p> | <p>はい。国交省の方に伝えさせていただきます。</p> |
| <p>参加者</p> | <p>現在午後8時になり、終了予定は午後8時30分という話でしたが、本日、説明していただいてやったという既成事実を作ろうというように感じる。大橋などの大きな問題がたくさんある中で、時間の設定について疑問を感じる。</p> <p>また、現在、町の税金で都市計画税を徴収しています。多分、大石田と横山の地区に限る。</p> <p>そして、交流センターと駅でかなりお金を使ったと思うが、横山地区で都市計画税を活用する予定はありますか。今後、都市計画税を徴収するのであれば、流雪溝とかで理由をつけると思うのですが、全地域的なものなので、取り立てて理由にはならないと思う。</p> <p>あと、支援事業パンフレットにたくさんの事業が載っているが、実際これ活用して人はいるのか。行政としては企画しました、町民の方に説明しました、使う人は申請してくれとなる。せっかく良い事業があるのだから、もっと使ってもらえるように何か方法を考えるべき。最後に、町民が行政に意見を言いたいとき、必ず区長を通してくれと言われる。これは、条例で決まってるなど根拠はあるのか。</p> |

| | |
|------------|--|
| 小玉総務 主幹 | 順番にお答えするという事によろしいですか。 |
| 参加者 | あと、全町で、区長が40人くらいいる。町の人口は減っている。少し工夫してもらいたい。下宿と黒滝のように、やっぱり最初は抵抗があると思います。けれども、将来的に考えるべき。以上でよろしくをお願いします。 |
| 小玉総務 主幹 | <p>はい、最初に時間の設定がちょっと短いのではないかという点についてですが、午後8時30分までという目安ということでお話しさせていただきましたけども、もちろん皆さまからご意見をいただければ、去年には、これとは別なんですけども、地区から申し入れをいただいて、今宿地区でも座談会を開催させていただきました。その際には9時20分くらいまでお話しさせていただきましたので、皆さまからお話があれば、時間はもちろん予定時刻が経過しても、こちらの方としては話をお聞きしたいと思いますので、よろしくお話ししたいと思います。それから、私の方でお話しできるものが、区長さんの関係です。総務課の方で区長さんについてはいろいろと対応させていただいておまして、私自身もご難儀をおかけしているなど感じてはおります。私自身も去年まで地区の役員をしておりまして、大変だなと感じているところです。先ほどありました区長さんを通してという条例とかがあるのかということなんですけれども、条例はございませんが、規程はございまして、かなり前、昭和30年代くらいに設置された区長の規程というのがあり、そこでは地区と町とのつなぎ役というような形で規定させていただいているところです。何でもかんでも区長さんを通してと言うと、やはり、区長さんの方にはかなり負担がかかるというふうには私自身も感じてはいるところなんですけども、もちろん個別にお電話いただくというのはもちろんありますけれども、ある程度、例えば地域のこの問題については、地域の方でまとめていただければ大変ありがたいなというふうには考えております。特に、除雪のことについては、かなり区長さんに難儀をかけていると思います。私も以前担当してたので、何でもかんでも、区長さんを通してくれというのも気が引けるところもありますが、やはり皆さまからお電話いただくと対応できないというのが現状であります。建設課では何かで外に出ていて、問題がある時にはほとんど、職員が外に出ている関係上、電話を町民の皆さんからいただくと、対応できないということがありまして、区長さんには大変ご難儀をかけているなというふうにも思うのですが、その辺りはご了承いただきたいというふうに思います。</p> <p>町の方としても、できる限り区長さんに負担を掛けないようにしていきたいとは考えてございますので、今後、お話しさせていただきたいと思います。また、41地区もあって区長さんが41人いらっしゃいます。今後、少し地区の方を再編していく必要があるのではないかと、というふうなお話もいただきましたので、町の方から一緒になってくださいねというのはなかなか言いづらいところもございまして、10世帯とかいう地区もございまして、そのあたりは地区とお話をさせていただきながら進めていければなというふうに考えておりますので、そのあたりについては、よろしくお話ししたいと思います。</p> |

| | |
|----------|---|
| 大沼建設課長 | <p>2つ目の都市計画税の活用の計画はあるのかというご質問です。都市計画税、皆さまの貴重な税金をいただいております。直接の担当は町民税務課になりますが、都市計画を担当しているのが建設課になりますので、私から話させていただきたいと思っております。都市計画自体は先ほど触れていただいた、下水道なども当然含まれておりますし、流雪溝などもございます。現在のところは、計画があるかと問われれば現在のところはございません。以前の地区の座談会で、ご質問あったと思うんですが、これから大橋の整備が進んで、取り付けとの整備が進めば、必然的にその他の町道などの整備も必要になってくるかと思っております。そういった場合に、ぜひこの都市計画税を有効に活用させていただいて、整備をするような形で進めていければということで、内部では検討しておりますので、そういった計画が皆さまにお示しできるようなになれば、できるだけ速やかにご提示できるように進めていきたいと思っておりますので、ご理解、ご協力をお願いしたいと思います。</p> |
| 小玉総務主幹 | <p>せっかくいろいろな事業があるので、もっとPRしたらどうかというご意見ですが、このパンフレット自体は去年から作ったものになります。</p> <p>せっかく いろんな事業があるので、パンフレットにまとめて皆さまにお届けをしたいということで、去年から始めさせていただいております。今年は2年目になるんですけれども、6月25日発行の広報誌にて皆さまの方に、届くことになってございます。挟み込みになっておりますので、どこか無くならないようなところに置いておいていただき、ぜひ確認をしていただきたいなというふうには思います。ここで見ていただいて対象になるのかどうかということが分からない場合は、町の方にお問い合わせをいただきたいと思います。また問合せ先も記載しておりますので、ぜひお問い合わせをいただきたいと思いますというふうに思います。こちらの方は、総務課の方で広報させていただいているんですけれども、皆さんに使っていただけるようにいろいろ広報をさせていただきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思いますというふうに思います。よろしくお願い致します。</p> |
| 参加者 | <p>支援事業パンフレットに載っている補助事業のそれぞれの実績は。</p> |
| 青藤保健福祉課長 | <p>保健福祉関係については、実績については、件数とかまで記憶しておりませんが、既に申請いただいているものも多くあります。</p> |
| 小玉総務主幹 | <p>事業が多いので、それぞれ何件ということはちょっと言えないんですけども、例えば 住居支援のリフォーム支援、除雪機械支援事業は毎年人気があって予算がなくなるくらいのお申し込みをいただいております。今年もすでに建設課の方には結構来てるのかなというふうに思いますし、その他いろいろございますけども、例えば使い勝手が悪いというふうなことがもしあるとすれば、使いやすいように修正していくということにつながればと思いますので、ぜひご意見とかいただければなというふうに思います。よろしく申し上げます。</p> |
| 参加者 | <p>区長ではなく町議会議員を通してもいいのか。</p> |

| | |
|------------|---|
| 小玉総務 主幹 | 町の方からは組織が別ということもあり、お答えが難しいのですが、立場的には住民の代表というふうなことになりますので、それはもちろんご相談いただいて大丈夫かと思えます。 |
| 参加者 | 支援事業のパンフレットですが、先ほど町長の方から給食費の無償化は北村山の中では大石田が初めてというふうなお話ありましたが、その他に大石田でしかやらない支援事業とか、そういった部分で、近隣地域よりも範囲や額が多いというふうな支援事業というのはどれどれなんでしょうか。大石田の支援事業というのは、他市町村と比べるとかなり無いとか低いとか少ないとか、そういうのが一般的に言われている。噂で聞くような内容なので、せっかくそういうことがあるのであれば、どれが他市町村と比較して独自でやってるとか補助額が多いとかっていうのをお示しいただきたいと思えます。 |
| 庄司町長 | 給食費の完全無償化というのは大石田が初めてだということで聞いています。さらに言うと保育園の副食費助成とかもあるんですけど、そちらの方もとある市町村の方から「大石田は無料でいいね」という声はいただいているので、多分そちらはないところもあるのかなと思えます。ただ大石田独自ということまで 確認はしてないです。 |
| 参加者 | 大石田に若者の定住を図るには何らかの助成というのが一番効果があるんじゃないのかなと思うんですけど、そういった部分でこれまで、本当に大石田は何も無いというふうなことで言われておりましたので、是非そういうところですね。しっかりPRしていただきたいなと思えます。この間、出産した方にうろこやさんと提携してケーキを贈る。ああいうようなすごく良いところが、もうありますので、ぜひそういった部分をどんどんPRしていただいて、やはり 町長が広告塔となってPRしていただくのが一番効果があるんじゃないのかなと思えますので、ぜひお願いします。 |
| 庄司町長 | ありがとうございます。うろこやさんの件に関してはですね。うろこやさんは他市町村ではせずに大石田だけしてくださるということでした。 |
| 参加者 | さっきもありましたけども、やっぱり内水と大橋。それが一番大きい問題なんですよ。先ほども 説明はありましたけども、これは内水に関して 今年の3月4日にプラザで大橋の架け替えの説明会ありましたけども、その時に内水を何とかしてもらいたいという発言したんですけども、その後何も音沙汰がない。で、今日やってそれで回答くると。しっかりした回答じゃないのかもしれないけども、これだとね。いつまでやってもどうなってるかわかんない。3か月後に1回、回答を出すとか、1回中間報告を出すとか、そういうことをやってもらえませんか。多分今回この会議ってのは、大石田ではいちばん最初だと思うんだけども、この会議の内容を2～3週間後でも良いんだけども、今後地区の回答してもらいたいんですよ。で、最終的に町全体の終わったら、それも全部回答してもらって、次に、町民にこういう意見がありまして、こういう回答をしたということで。回答できなかったら、これ |

| | |
|--------|---|
| | <p>はいつまで回答するという期限を決めて回答してもらいたいですよ。お願いします。</p> |
| 大沼建設課長 | <p>一点目の内水の対策はいつ出せるんだと早く出してくれというお気持ち大変分かります。ただ、計算しているのが国交省さんなので、我々はその内容を今のところこんな段階ですというのは確認をさせていただきました。確か年度内に出せるというようなこととお話を伺ってますので、申し訳ないですが、私が今ここでこんな対策を打ち出せるというはちょっとお答えできません。</p> |
| 参加者 | <p>中間報告を出してほしい。秋頃でも良いので。</p> |
| 大沼建設課長 | <p>国で作成しているものなので、お答えできかねます。</p> |
| 参加者 | <p>とにかく聞いてもらってどういう状態ですということ。</p> |
| 大沼建設課長 | <p>年度内には結果として出せるというようにお聞きしています。</p> |
| 参加者 | <p>秋ぐらいに1回、回答をもらいたい。</p> |
| 大沼建設課長 | <p>では、国の方にそういったお声があったということをお伝えおきます。</p> |
| 小玉総務主幹 | <p>それから、座談会の内容を各地区の方に示してほしいということなんですけども、現在録音してますけども、全部誰がどういった発言をされたかということをお文字起こししていただいて、町のホームページには掲載してお届けしたいというふうに考えております。全部文字起こしして間違いのないようにしていきたいというふうには考えております。その内容はちょっと要約するか、どうするかですが、ホームページには掲載していきたいと思っております。また週2回ペースで進めていくため、文字起こしが大変なので、時期についてはご容赦いただきたいというふうに思っております。で、もしこの場で回答できないものが出てきた場合についてもホームページなり、区長さんになりご回答をしていきたいというふうに考えてございますので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p> |
| 参加者 | <p>じゃあ、私の方から3つほど質問です。まず、内水処理の問題ですが、前産業振興課長が来てくれた際、内水処理どうするんですかと聞いたら、内水処理の施設はありません。下流の方から文句がくるからそれはありません。作る予定はありませんと前産業振興課長から言われた。分かりもしないことをその場で即答するのは良くないことだと思う。例えば基点の内水処理はすごい。処理が遅かったと思って、もう少し早くから水を流せばよかった。何時間後になんぼ水位が上がると想定できる。それを国交省の職員に言ったら逃げて行った。やっぱり、地域によって内水処理も</p> |

| | |
|------------------|---|
| | <p>異なる。研究する必要がある。地元の意見を聞いてほしいと思います。あと、農政の方ですけども、助成金の事務処理が遅い。助成金などのそういった説明会に大石田は来ていないということだった。このようなことが3回あった。やっぱり農協と役場でやり取りしているから助成金があるのかなど分からない。説明会の案内とかあると思うんですよ。これからしっかり農政について携わってほしいなと思います。あともう一つですけども、以前にも私はさ意見書を出したことあるんですけど、駅前開発をして欲しい。山形市の佐藤市長も言っていたが駅周辺の開発をしないとだめだ。観光客数では、山形について利用客が多いんだそうです。観光客は、ほとんどが銀山温泉のお客さんだと思うんですけども、そういうお客さんを相手にする、ゆっくり休んでもらえる施設が欲しい。あと雪を利用した雪室を作ってほしい。どこの自治体も駅近くにはない。雪室で保管されたお米のおにぎりとかそういった施設づくり。やっぱり地域の人が商売やっていないとダメだ。補助金だけでなく、地域で生産されたものを売って、税金を増やす。儲ける商人のまちづくりをよろしくお願いします。</p> |
| <p>大沼建設課長</p> | <p>内水については、横山地区の方はこれまで大変苦勞されてきていますので、我々もその気持ちに寄り添って本当にあの少しでも早くその被害を無くすために取り組んでいるところです。先ほど お二方からもご意見頂戴しましたので、できるだけ早く皆さまにお示しできるようにちょっと国の方と調整したいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございます。</p> |
| <p>八ヶ岳産業振興課長</p> | <p>助成金の処理が遅いということではありますが、こちらはちょっと皆さんに迷惑かけないように処理の方はさせていただきたいと思います。あと、説明会の方なんですけども、どのような説明会なのか詳しいことを聞かせていただきたいと思います。いろいろな農協さんとタイアップすることもあります。その他の説明会や、催し物については参加をさせていただきたいと思いますので、今後ともよろしく願いをしたいと思います。</p> |
| <p>庄司町長</p> | <p>駅前に関しては、おっしゃる通り、インバウンド客が大変来ておりまして、ただ帰っているような状況も分かっています。私も冬に何度も見に行っていてですね、待合場でもう人が溢れるほどの方が来ているということは認識しているところです。その辺の対応もですね、今後もちろんしていかなきゃいけないなと思っています。今回、6月の予算でですね、まず、ふうりゅう側の駐車場の整備をするような予算を可決していただきました。あの辺はボコボコになっているような形なので、そこも整備しながらですね、あと、やはり多言語表記とかですね、旅行者に向けたその整備とかですね。進めなきゃいけないかなと思っています。あと、尾花沢もですね、もう実は、銀山温泉はオーバーツーリズムで溢れるほどになっているそうです。銀山温泉のオーバーツーリズム対策を含めた持続可能な観光計画策定事業ということで、今審議しているようです。まず、ソフト面でそういった策定事業を進めようという話をしているそうです。やはり尾花沢市と連携しながらですね。いかに私たちの方も 銀山に来られるお客さんを取り込んで、蕎麦であったり、だんごであったり、さらに温泉入ったりとか、そういう一連の観光とかいう面もですね、考えていき</p> |

| | |
|----------|---|
| | <p>いと思います。どうもありがとうございます。</p> |
| 参加者 | <p>最初の方で若手職員との面談のお話がありました。若手職員の方で一部だとは思いつつ、非常に冷めている方がいてそれを言うと特定になってしまうんですけども、地域活動にも参加しない。大石田町の職員であれば積極的に参加してほしいという雰囲気です、作っていただきたいなと思う。また、いろんな会合に大石田だけ来てないという話をよく聞きます。是非、県との調整のため参加などしていただきながらやっていただきたいなというふうにお願いします。</p> |
| 庄司町長 | <p>はい、ありがとうございます。おっしゃる通りで、あのやはり自分たちがですね、役場に入ってですね、自分たちが作っていく、今後の大石田を作っていくのは自分たちだという意識を持ってですね。強制はちょっとできないですけども町内活動にも参加していただくよう促していきたいと思います。ありがとうございます。課長会議でも話したいと思います。</p> |
| 参加者 | <p>高齢者支援の中で緊急通報支援事業というのがあるが、対象は65歳以上の一人暮らしの高齢者等であるみたいだけれども。一人暮らしじゃないとダメか。</p> |
| 小玉総務主幹 | <p>対象については確認します。</p> |
| 参加者 | <p>利用者は申請しなきゃなんないのか。こういう対象者の方に役場の方から声掛けはしているのか。</p> |
| 青藤保健福祉課長 | <p>ケアサービスなどされている方などからの声掛けはなっているとは思いますが。</p> |
| 参加者 | <p>もうちょっと手厚い支援を町で考えていただければと思います。</p> |
| 庄司町長 | <p>はい、ありがとうございます。今、大石田町の65歳以上の割合が42%ほどと言われます。人口の2.4人に1人が65歳以上になっております。決して高齢者の方をないがしろにして子育てばかりとは全然全く思っておりません。今回進めようとしているですね、DXというデジタルをなるべく使って行政を効率化していこうとしているんですけども、それもですね、決してデジタルできない人たちを取り残すつもりは全くなくてですね。それは、例えばスマホが使える方々、タブレットが使える方々がもうその役場に来なくてもいろんな手続きを取れるようにできるようなシステムを作っていきたい。そうすると今までそういう人たちが役場に来なくて良くなり、その人たちにかかっていた時間が空くわけですよ。窓口ではさらに高齢者の方だったり、家庭に対して寄り添って、いろんな質問に対して対応できるかなと思っております。また今度窓口入って右側すぐにですね、今まであの出納室があったんですけども、そこに今回「総合窓口」というものを立ち上げました。そこでまずいろんな質問ですね、何すると良いんだとか聞かれた時に対応でき</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>るようにできる。また、支援とかそういうお金の面はこれから財政も鑑みながら、様々なことを考えていきたいと思いますが、決してあの子育てだけじゃないということだけはご理解いただければなと思います。</p> |
| 参加者 | <p>この前、たまたまNHKを見ていたら、夫婦で秋田の実家に仕事があって、旦那さんは、くつろいでいてと言われて、お嫁さんはずっと台所で裏方仕事をさせられた。こんなところに誰が行くもんかと、二度と秋田になんか行かないとかって言うことを聞いた。やっぱり若い女性が何考えているのか、いろんな事やっても飛びつくものと飛びつかないものがあると思う。あと、この前初めて誘われて、議会の傍聴させていただきました。けれども、入ってすぐに感じたのがみんな男性ばかりだった。やっぱり、女性ならではの視点というのが色々あるかなって思います。なので、それは役場の方たちだけの問題でももちろんないわけです。けれども、そういうことが世界中から見ても日本の女性の地位低いと思う。</p> |
| 庄司町長 | <p>女性議員はまずいないので、青木久子さん以来、多分おられないかなと思いますので、4年後に向けてですね、やはり色々な話を聞きながらですね、ぜひ、女性の方も立候補していただいて、増やしていけたらいいなと思います。また、やはり座談会を通したりですね、私も子育て世代で小学校と中学校の方のPTAとかに様々いって、色々な意見いただいております。やはりそういったことも政策に活かしていきたいなと考えております。令和4年度で3,760人ぐらいが県外に流出したらしいんですけども、そのうち15歳から24歳が3,160人いて、そのうち半分が女性だそうです。やはり女性の働き口とかが山形にはなかなかないとか、あとしたい事が無いのもあるのかと思いますので、色々なご意見いただきながら、政策にも反映したりとかですね、ぜひ、していきたいなと思います。ご意見ありがとうございます。</p> |
| 参加者 | <p>先ほど都市計画税という形で、都市計画についてお尋ねがありました。去年の1月に見直しという形になっています。その時、意見を申し上げました。けれども、回答のないままになっております。1月10日のお知らせ板に、そのマスタープランに対してのご意見をお聞かせください、というお知らせがあって、その締め切りが10日ぐらいしかないんです。そしてそのマスタープランの原稿は ホームページよりダウンロードしてと書いてあって、できなくて、建設課にもらいにいったけれども。今、若い女性の働き口という形からすると保育園に何かあった時にすぐ行ける。そういう条件からすると、大石田の町内の近くに工場があれば良いのかなと私は思うんです。マスタープランの中には 大石田と横山本郷、ここはベッドタウンです。住宅専用地域になってます。だから、工場を作ります、という申請を出したらほぼ却下されます。横山で工場を建てようとして、ずっと前の話ですけれども出したところ、却下されて、住宅のそばに工場があってはまずいということで、その人はプレハブという形でなんとか工場を作った。要するに、働く場所を大石田、横山本郷に工場を作ってはいけないんです。そのようなまちづくりをして、産業振興どうこういうような町の方がちょっとおかしいのではないかなと思います。そして、都市計画とかそういう部分が建設課担当ですが、本当はまちづくり推進課ではないかと</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>思います。都市計画税も取っているんですよ。その都市計画税でされた事業っていうのはほとんどありません。だから、大森山工業団地とか新庄工業団地に通うベッドタウンにするということで、約40数年前にできたものが今も生きてるんです。そしてその内容がほとんど民間のものを作っている会社に丸投げしてできた、そのものだったように気がします。やはり 課長さんなり若い職員たちといっぱいいろんな意見を出して、そしてもう一度ね、やっぱり見直す必要があると思います。ベッドタウンですから。旧大石田と横山地区は工場を立てていけません、ということをして是非見直しをお願いしたいと思います。</p> |
| 大沼建設課長 | <p>はい。ありがとうございます。令和5年の1月にご意見頂戴したことに対して回答がなかったというのは、私もはっきりとしたことは分からなくて申し訳ないんですが、もしそういったことが事実だったとすれば、ここは大変申し訳ないと思います。確認させまして、もし本当に未回答であれば申し訳ないですが、遅くなって申し訳ないんですが、回答をできるかどうか、ちょっとだけ確認して対応させていただきたいと思います。大変申し訳ありませんでした。それから、前は都市計画室というのが 役場の部署としてありましたが、現在は 都市計画の業務は 建設課の方の内部で分担をさせていただいています。そして、その他に役場の中で都市計画の事務を所管している部署というのはございませんので、そこはご理解いただければと思います。</p> |
| 参加者 | <p>だから、横山の地区を見て、横山本郷の住宅が立っているところすべて住宅専用地域で、そのすぐ隣からは、田んぼで全部農業振興地域です。それも何もできません。何もできないところに工場はできますか。若い人に起業をなさいと言っても、若い人が起業できるスペースがもう無いんです。その辺、産業振興課長はどう思いますか？</p> |
| 八ヶ岳産業振興課長 | <p>規模にもよると思うので、何百人の工場はできないかもしれませんが、それはできないことではないと思う。</p> |
| 参加者 | <p>だってかなり工業的な木工場ですら、できなかつたんですよ。</p> |
| 八ヶ岳産業振興課長 | <p>今だってやってますよね。横山の中でもできなくはないと思うんですが、ちょっと正確なことが分からないので確認させてもらうしかないんですが。</p> |
| 参加者 | <p>仮に自動車修理工場とかなんか申請をしたらほぼダメ。</p> |
| 八ヶ岳産業振興課長 | <p>上ノ原地区も自動車修理工場ありますよ。</p> |
| 参加者 | <p>住宅地域だと第一専用住宅と第二専用住宅というのがあって、場所によっては作れないはず。</p> |

| | |
|-----|---|
| 参加者 | <p>やっぱり、働く場所が住んでいる場所に近いところで、女性が安心して働いて、子育てができるという条件を整えるには、やっぱり近いところに工場がないとだめかなと私は思います。子育てするには収入が必要ですので、若い人が勤められるような工場が必要不可欠になってくるのかなと思いますので、都市計画という形の中をもう一度よく精査して、役場の方の若い連中だの意見を聞きながら少しの時間をかけて見直していただければと思います。</p> |
| 参加者 | <p>そばまつりありますよね。そろそろそば道楽の会も厳しくなっている。そばの認知度も上がってきている。やり方を考えるべきだと思う。</p> <p>また、団子とそば食べても1000円ちょっとにしかない。温泉に関しては500円ちょっと。1日滞在できるようにすれば、お客さんも使うお金も倍になる。そこら辺を考えてほしい。以上です。</p> |
| 参加者 | <p>チラシの中にある、新しい橋の規格のことなんですけども、歩行者スペース 1m程度ということであります。けども、1mですと、人と人がすれ違うのに非常に楽でない。これは一人しか通れないって歩行者スペースということ、町としては取り組みを進めるということなんですか。どうして町道で認定してという形でしたのでしょうか。前は県道だったので、県ですれば、幅員等もまあ50センチ程度違うはず。これだと5.5mだから、町の方は2.75m、片側になるわけですけども 県道ですと、もしかしたら3mとかになるのかな。あとは、一般国道ですと3.5mとかっていう形で、基準があるわけですけども、それに従って、どうして大石田町では町道に格下げしてもらって認定したのでしょうか。また一つの疑問ですが、県道ですれば広くとれたんじゃないかということだと思います。あとは歩行者のスペースは、先ほど言ったように1mで、立体でしますと1m20cmぐらいじゃないと人と人がすれ違わないの。避けて歩かなければならないということもあるのではないかな。1mというスペースで満足してるのでしょうか。我々から私からすれば満足できないなと思って。毎回言わせてもらいました。</p> <p>あと もっとあるんですけど、もうちょっといいですか。一つは下河原運動公園の位置付けなんですけども、運動公園はどこからどこまで町で管理しているのか。国から公園を借りてやっているのか。というのは、あそこのスペースの中では道路がある。しだれ柳がもう非常に太くなって、4~50cmぐらいになってるのかな。それで去年、一昨年の雪でかなり枝が折れた。道路にもかかっているやつもあるし、道路で歩くにしても歩けないような状況ですし、水が上がった状態で泥がそのまま、夏で乾いて、雨降るとドロドロであの歩けないというような状況になる。</p> <p>前は歩いたんだけど、今なんか私は歩けないような状況で、健康づくりしようと思っても行けなかったっていうのがあって。誰に言えば良いのかと思ったんですけども、今日初めて言わせていただきます。下河原運動公園のしだれ柳を植えたのは建設課の時だと思うが、どこで管理しているのか。あと、個人的なことなんですけども防災無線なんです。うちのところはどちらからも聞こえる方向が無くて、もう末端のような場所なんで大石田の方からと上ノ原の方から聞こえる。2回くらいしか言わないのですぐに終わってしまうため、さっぱり分からないっていう状況があります。直接聞けるような設備であれば聞く事ができるかと思うんですけども、ちょ</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>っと私のところはもう本当にどちらからも聞こえないという感じだった。あと、町の機構でグループ制という形でしています。けども、グループ制は、みんなで対応できるという形で、当時は出た時にはみんな勉強してやるということでしたが、実際は、担当がいなくて今日分かんないと言われることがあった。あんまり意味が無くなっていうことで、係の方がむしろ分かりやすいし、私はもう元に戻してもらった方が良くないかなって思っていました。</p> |
| 大沼建設課長 | <p>はい、それでは 県道のまま架け替えしてもらえれば良かったんじゃないかということに関してましては、当初の説明の際からお伝えしてきている通りです。基本的にはまず堤防の整備がありきということで、堤防を整備するのに大橋の高さが足りないために大橋を撤去するか、それとも架け替えをしなきゃいけないという状況にありました。現在の大橋については県が管理しておりますが、虹の大橋を整備したことで、現在大橋の役目は終わったということで、県では、今後は架け替えを行わないというような方針をずっと示してきております。ですので、町としてはただ 町民生活の上では絶対必要な橋だという判断から、なんとか残す方法がないかということで、国、県、それから、町と調整してその結果として、管理を町にすることにすれば、機能補償という形で、架け替えをしていただけるというようなことで、町道への移管となったところですので、町道にならなければ大橋がなくなっていたというような状況ですので、そこは理解していただければと思います。それから、幅についてはこの写真では想定上1mということで記載しておりますが、実際歩行者スペースと車道スペースの間にはこのような橋の欄干のようなものを設ける予定ではございません。もっと柔軟なもので、ちょっとした区画がわかるような処理をしたいと考えてますので、すれ違う際、若干の邪魔にはなるかと思いますが、さっきから出ている冬の駅前のような混み具合にはならないと思いますので、そこは申し訳ないですが、利用する上でご協力いただきながら 利用していただきたいと考えているところです。</p> |
| 参加者 | <p>すれ違うのは2畳分程度必要なんじゃないですか。両側にあれば違うんでしょうけども、片側だけですから。</p> |
| 大沼建設課長 | <p>そうですね。どんな方法があるか、ちょっとこれからも検討させていきたいと思いますが、申し訳ないですけど、全体の幅っていうのはこれ以上広げることがちょっとできませんので、運用の仕方などでなんとか対応していきたいと考えてますので、ご理解お願いしたいと思います。それから、下河原運動公園については 今どこからどこまでというのはちょっとお答えできなくて申し訳ありませんが、後ほどご回答したいと思います。確かに管理の方は建設課ということで引き継ぎを受けてますが、柳の枝葉までというのはちょっと私も聞いてなくて、必要があれば、それは処理しなければいけないと思いますので、そこは持ち帰って対応したいと思います。ありがとうございます。</p> |
| 小玉総務主幹 | <p>では、私の方は 防災放送の関係でちょっとお話しさせていただきたいと思います。聞こえないというふうなことでお話をいただきました。他にもやっぱり聞こえにく</p> |

| | |
|--------------|---|
| | <p>い、というふうな声はいただいております。特に皆さん外にいるわけではない、中にいると聞こえないというふうなこともございます。あとは雨が強かったり、冬になるとやっぱりちょっと雪で覆われて、なかなか放送が聞こえないというふうなことはもちろん承知しております。今後、防災放送等を追加して立てていくのかというふうなことになる、なかなかちょっと難しいのかなというふうには考えておりますが、そのための代替じゃないですけども、今現在防災放送は防災放送として、今のものを使っていくと、それで聞こえないというふうなことにしましては町公式のLINEとか、あとはメールを登録していただくと、防災放送の内容が届くような仕組みをしております。LINEもできないし、メールもしてないというふうな方については、この資料の裏面の一番下に防災放送が鳴ったらこの番号に電話かけていただくと、放送した内容を電話で聞くことができます。こちらにかけていただくと、今何を言ったのかということを知ることができますので、ご活用いただきたいというふうに思います。で、毎月、広報紙を出してはありますが、一番後ろの下の方に必ず記載していますので、もし何かあって電話を聞きたい場合はこちらの方に電話をしていただきたいというふうに思います。10円かかりますが、こちらの方で対応させていただきたいと思います。防災放送の他にいろんな媒体で、他にもなんか色々あるんですけども、そういったもので皆さんの方に情報提供できればということも考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。LINEは防災だけでなく、いろんな情報も発信させていただいておりますので、ぜひLINEをお使いの方はこちらを読んでいただくと確認することが可能ですので、そうしていただきたいというふうに思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> |
| 海藤政策 推進主幹 | <p>それで、私から町のグループ制ということについて、お話ししたいと思ひます。当時、県内でもグループ制を進めていった経緯としましては、どこの市町村も係単位で、もともとは組織として作られておりました。その係がない、こちらの課の人がいないという場合に、どうしてもお客様の対応が滞ってしまうという状況があり、それを緩和するため、全体をまとめて全体でお客様の対応しようということになったのがグループ制だったと認識しております。その体制を作ったんですが、結局は町民の方に対応する際には係がないので対応できません、という対応がほとんどの市町村であったものですから、どの市町村でもそういう体制では、やはりかえってお客さんが来ていただいた時に、どういふ内容をどの区分に訪ねれば良いのかというところを分からなくしてしまっているという部分が大きくなっていた関係もありまして、各市町村の方でグループ制を取り止めて区分けをして、そういう体制を作り直して、市町村で行っているところが、今、多くございます。大石田町につきましても、その状況は重々承知しております、機構改革ということで担当する部署がまちづくり推進課の方になりますので、先ほどいただいた内容を踏まえまして、機構改革担当であります、まちづくり推進課の方で今後検討させていただければなと思ひますので、よろしくお願ひします。</p> |
| 参加者 | <p>こういう話し合いに来ましたけれども、いつもこの町民の側が行政の皆さんに届けようとするわけです。けれども、これがきつとうまく通らない、話を聞いてくれない。聞いてくれても答えが簡単に返ってこない、次第に国がそうだけれども、</p> |

無力感みたいなものが蔓延してくるというのが実情ではないかと思います。それは行政の皆さんも大きな仕事から細かな仕事がいっぱいあって本当に大変だと思います。今、先輩方から上がった問題もまだまだ山積しておりまして、解決ができない問題ばかり。じゃあこれからどうするのかということが問題なんです、何か私だんだん話聞いてると頭が下がってきて、重たくなってきて夢を見るのが難しくなってるなという気がして、何か人口はあと10年もすると、もう3000人台に減る。農業の後継者がいなくて、田んぼばかりが空いて、私みたいな素人でもどうなるかが大体予想できます。このままだと町が無くなってしまう。その時にどうしたら良いんだろうとネットでまちづくりの成功例とかのぞいたりするんですが、それを真似しても真似できるわけではないし。じゃあどうしたら良いんだろうか、ということ考えた時に、もう私は普段、演劇やって妄想ばかりしてる人間なものですから、夢は見たいと思うんですね。大石田町でこんなことができる。こうした町に住んだらこんな楽しいことがある。さっきあった雪室とか、市町村によっては無料循環バス。まあ、お金が必要ですけど、回して、歴史や文化を見てもらって、美味しいもの、蕎麦や団子を食べてもらう、そういうこのアイデアもあるでしょうし、農業のことについても今年の秋までに新しいプランを策定するということがどっかに記述がありましたね。地域計画を今年度末までに策定とありまして、楽しみにしております。若い町長さんで私も応援しております。町長さんには若い応援するブレーンがいっぱいおります。そういう人たちと一緒にこの新しいアイデアをもっと夢をいろんな方の知恵を借りながら夢を見て、こんなことができるんじゃないかっていうアイデアを吸い上げていただきたい。町民に無力感を与えない町政をどうか一緒にお願いしたいと思います。以上です。

庄司町長

はい、ありがとうございます。子どもたちがですね。出てっても良いと思うんですね。こういう大学であったり、東京に夢見るのは当たり前だと思うんです。やはりこう帰ってきて なんかやっぱ大石田に帰ってきたいなって思う面白いまちづくりをぜひしていきたいなと思います。あと一つですが、以前私は とある経営者の方から話聞いたことあって、子どもの頃から後を継がなくて良いからとか、好きなことしろとか、帰ってこなくて良いという教育はしない方が良いっていうように聞いたんです。それはやっぱり継がなくて良いとか。例えば、帰ってこなくて良いとか。子どもの頃から言われてると子どもの脳裏にもう刷込まれて、俺は帰ってこなくて良いんだとか、そういうふうによっぱり自分の住んでる町にも興味が無くなったり、例えば家業にも興味が無くなる。そういうふうになっていく。だからできるだけ、皆さんも孫さんであったり、お子さんであったら、帰ってこなくて良いとかじゃなくて、否定的な意見は出さないでいただきたい。みんなで盛り上げていきましょう。座談会で色々ご意見いただいて、それをぜひ活かしていきたいと思いますので、あの無力感にならないようになるべく吸い上げて、色々政策をしていきたいと思います。高齢者の方をどう考えるとか 世代別にしないで、みんなで一緒になって、考えていければ良いなと思いますので、ぜひ皆さんもご協力お願い申し上げます。

| | |
|------------------|--|
| 小玉総務 主幹 | 予定していた時刻をオーバーしましたが、ここで終了という形でよろしいでしょうか。それではありがとうございます。ご協力いただきましてありがとうございました。 |
| 6. 閉 会 （午後9時10分） | |